

## 古紙業者での牛乳パックの集積・圧縮・梱包・一時保管の様子

参考資料

学校から運ばれたパックはコンテナやカゴに集められ、人力で袋を開封し、ベルトコンベアで古紙圧縮機に送られます。

古紙圧縮機で圧縮されたパックは、1トン単位で梱包されたのち、10トンになるまで一時保管されます（1か月程度）。

- ① 学校から回収されたパックが、コンテナに集められます



- ② ある程度溜まると、ベルトコンベアにおろします



- ③ 水気の少ないパックは、ビニール袋から出して、カゴに集められます  
(ある程度溜まると、ベルトコンベアにおろします)



- ④ ベルトコンベアでは、ビニール袋から出して圧縮機へ送ります（5人がかり）



- ⑤ 圧縮機の内部です



- ⑥ 梱包後のパックです（これは1トン×2個）



（R4.6撮影）指導資料としてのみ改編・活用可



古紙業者さんが困っています。「今より、きれいに洗って、しっかり水を切る」このひと手間で、改善されますのでご協力お願いします。

参考資料

1袋分だけでも、これだけの牛乳が飛び散ります



圧縮すると牛乳が漏れ出している状態です



牛乳が固まってしまって取れない状態です



大量の牛乳が機械の中に溜まっています



機械に錆が回り、故障の原因になるため、  
タオルで水分を吸い取っていますが、ゴミも出ます



(R4.6撮影)指導資料としてのみ改編・活用可